



久貝貫一様のご厚意で色々な事が立ち上がりました。当時は、テレビは無し、ゲームなどは程遠いものでしたから、勉強会等高学年が低学年の勉強を見るような事をしたり、また子供会が出来、演劇を手掛けて見ようと、「眠れる森の美女」「鶴の恩返し」「父帰る」など、大道具、小道具、衣裳、台本などは自前、海蔵寺さんの本堂に舞台を作り、町会の方達をご招待して皆さん楽しんで頂いたりしたものでした。本場に当時の事を思うにつけ、我ながら感心して居ります。それらのリーダーとして引っぱってくれたのが、現在ご近所に住まわれている、奥澤とし子（旧姓、清水）さんです。その頃の事を話し合えるは、今ではこの方ぐらいになってしまいました。台本を作り、練習の日々の楽しい思い出は、半世紀前の私の心の中の一ページに残してあります。

本当に、ご住職久貝貫一様にはご協力頂きお世話に成りました。私自身としても大変お世話になりました事を、後に述べる事となります。

私が日本舞踊の道に携わる事になったのは昭和小学校6年の時、学芸会で何人かで踊る事になったのがきっかけとなり、それを機に習わせてもらった事かもしれません。

昭和二十八年、七代目坂東流家元・坂東三津五郎師（現在の家元は十代目です）より名前を

許され、坂東三之昭として現在に至りました。

まだ若かった私に昭寿会を立ち上げ、久貝様を後援会会長として蓬萊町、白山上商店街の有志の方々に応援を頂きました。皆様からは高島屋調製にて緞帳を寄贈戴きました事を本場に嬉しく、感謝致しております。その緞帳は現在でも我が家に大事に保管されています。

近隣の方達にも盛り上げて頂きました。蓬萊町の現役員である猪熊良一さんの父上である猪熊良晃様や都電の運転をなさっていたお仲間達も、日本舞踊を試み楽しんでいただいた事もありました。また海蔵寺本堂の左脇に、老人クラブが建てられ、そこでも蓬萊町婦人部、上千駄木婦人部などの日本舞踊のサークルが出来、楽しんでました。そこではお年寄りが集まり、将棋、囲碁、詩吟などもしていました。他町会の方達も訪れ、詩吟の歌声が我が家にまで届いて居りました事を思い出しております。

海蔵寺久貝様御夫妻の仲人にて二十五歳で結婚。サラリーマンの主婦をしながら、二女を儲け、踊りを続けられたのは、家族皆なの協力があつたらこそと思っております。

そんな中、三十一歳の時父が築地の店で倒れ享年六十五歳で逝ってしまいました。優しい父でした。父は自分の代で終わっても良いと考えていたのでしょうか、私共には店の事に関して、それまで何も語ってくれませんでした。倒

れた後は、大変な生活が始まったわけです。長女が四歳、次女が一歳二か月まだまだ手がかかりましたから、父の死をどう乗り切っていくか問題は山積みでした。主人は根っからのサラリーマン、商人には向きそうにもありません。そこで私が動かざるをえませんでした。その当時、母は悪い足を更に悪化し寝たままの状態、こたつの火を入れ、朝四時半に家を出ることは大変でした。それでも、もうその時間には魚河岸は、活気に漲っており遅いくらいでした。通いのお手伝いさんが来るのが八時、その間主人に頼んで一年間やり通しました。四季を通じ一番辛かったことは冬、暗闇に降りしきる雪中、自動車を飛ばした事など思い出されます。それでも踊りを続けられた事、主人の協力と、多くの方々の助力があつたらこそと存じて居ります。そして店は、熟慮の末、私なりに納得し、家庭第一にと方針を転換し、番頭さんにまかせて静かな生活に戻りました。



師籍五十七年、坂東三之昭として今は坂東会の幹部師範、総務をやりとげ、日本舞踊協会、東京支部城北ブロック文京地区所属の委員として活動しております。古典から新舞踊・童謡舞踊など手掛け、試行錯誤を繰り返してここ迄やってまいりました。

盆踊りも十代前半の頃は、太鼓の音が聞こえてくると、うずうずとしたものでした。富士神社まで出向き、踊り続け、帰りはまだ都電が通っていた本郷通りを、下駄をぶらさげ電車をほだして家路に着いた事も、あつたと遠い昔を思い出しました。しかし歳を重ねるにしたがい、盆踊りを踊る事に気恥ずかしさを感じてきました。これも伝統文化の一つと考えられるようになってからは、苦にならなくなったのですが、二人の娘も名取の名前を持ちながら私の若い頃と似て尻込みするばかりです。

この近辺では、白山商店街から斜めにぬける新道通りの潮泉寺さんの境内での盆踊りが、最初だったと思います。そして白山商店街のチャリティ盆踊りが始まり今年で四十六回を迎えようとしています。初代の踊り手の方々も皆さん逝かれ、あちらの世界で楽しく踊っておることでしょう。今では代も変わり皆さん頑張ってきましたが、この方々も高齢に伴い、体調の変化を訴えるようになった折、蓬萊町婦人部が賛助するかたちとなって、助かっております。ちな

みに蓬萊町の盆踊りも、白山商店街の婦人部の応援を受けて居ります。町会同志の交流が、良い関係になってきているのではないのでしょうか。存続していくには若い方達のご協力が必要となってまいります。皆さんの参加をお待ちしています。

最近では、文化庁から委嘱を受け、文京区在住の流派を超えた舞踊家たちが、日本舞踊を伝承すべきとして「文京区日本舞踊伝統文化こども教室」を立ち上げて六年となります。

文京区のシビックで行われて居りますが、毎年三十人ほど参加者があり、可愛いお子さん達の稽古に、良い汗を流しています。

また、京華女子中学校でEHD講座の総合講座があり、その中の「中学生のための伝統文化教室」と称して、「日本舞踊からみた礼儀作法」、*“ゆかたを着る”*、*“日本舞踊”*などの講師を務めて十四年目となっております。「礼にはじまり礼に終わる」精神、「ありがとう」という感謝の心が少しずつ根つきつつあります。そして日本舞踊を体験させ、秋の学園祭が発表の場となり、練習では大変ですが、その成果に一喜一憂しております。

最後になりましたが、賑やかな事が好きだった母を九十三歳で見送りました。銘柄も決まっているほど、お酒が好きでした。麻雀も自動機を買ってしまうほど入れこんで、九十歳まで

「ぼけなくて良いのよ」と言いながら楽しんでおりました。確かに最期までしっかりしていました。

主治医の田代先生に「先生、わたし死ぬのを忘れてしまったのかしら」などと言っておりました。あちらでお友達と唄、踊り、お酒と楽しんで居る事でしょう。

今では娘二人を嫁がせ、夫婦二人の生活、時々来る孫達を買ってくるお菓子に「それ明治のお菓子?」「明治製菓のお菓子なら美味しいよ」と相変わらず愛社精神旺盛の主人です。そして好きな道が続けられた事に、感謝して居ります。現在は稽古の間を縫って、体作りの水泳、六年目となるパソコンに挑戦し、文化庁に提出する書類作り、教材作りに追われて寝不足状態。歳を考えたと言われております。

戦後六十五年、街並みも大きく変わり、振りかえれば七十代半ばとなつてしまいました。今までプラス思考をモットーに、走つて来たように思います。これからは、もう少しゆとりを持って、如何に美しく老いるかを目標に、あまり頑張らず、生きてゆければと思っております。

この原稿の依頼を受けた事に依り、改めて蓬萊町を見直すことが出来、また自身を振り返ることも出来たことを感謝致します。

当町会の、益々のご隆盛を祈って筆を置きます。

## 町会長六年生の辞

本城 康至

『老いは生のさなかにあり』とか言っていた奴も、小学校でいえば最終学年になって仕舞いました。町会役員諸氏の支えで、何とかお役目をこなして来られたところです。

今年は冬から春にかけて気温の変化が激しくて、体調を上手くコントロールできず、疲れが今に及んでいる方が多いことと存じます。町会の皆様におかれては、夏に向けご自愛の程切にお願ひ申し上げます。

陽気の変化のためでしょうか、庭の梅は下枝だけ実が成り、上枝は花はついてもさっぱりでした。婦人部長の藤関さんによれば、どこも春先の寒波にやられて上枝は駄目だったとか。小さな庭の生態系にも一連の影響がみられ、例年ですと五月上旬頃には羽化するヤンマが、六月中旬にやっと飛び立ちました。庭の小池にはクロスジギンヤンマとヤブヤンマがきますが、ヤブヤンマは池のそばのコケや湿ったところに卵を産みつけてゆきます。クロスジギンヤンマは水蓮の葉の裏に産んでいます。両種共木の繁った辺りの水溜りのような池で幼虫時代を過ごし、成虫は林の中でくらすしているヤンマで、ヤブヤンマの雄は青い目をした異人さんといった

美しい姿です。私も今までに一度だけその姿を見ただけです。

小学校の頃、日本橋蛸殻町の水天宮のそばで育った私の夏は、ギンヤンマの追っかけでしたが、本郷の丘陵地帯はギンヤンマの好むところではなさそうです。そういえば、本郷の地では普通のシオカラトンボは少なく、オオシオカラトンボが夏の住人のようで、毎年先着の雄が池のまわりに縄張りをつくって、彼女達の産卵のお邪魔をしています。よく見ていると色々な種類のトンボが飛来してきますが、台風など大風のあとには思わぬ来訪者があるものです。ついですが、アカトンボという種名のトンボはおりません。

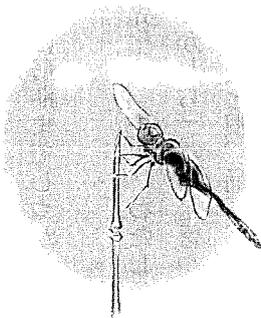
偕、本誌75号で町会活動が町内に止まらず、隣接他町会と協同した仕事が増えていることを述べました。そのうち、学校支援地域本部の方は日常的なものです。一昨年末にできた駒本小学校避難所運営協議会は、平成19年度に改訂された区の防災計画にもとづくものです。区役所は、防災課に命じて区内の小中学校32校を避難所として、関連町会を集め避難所運営協議会づくりを進め、平成22年度当初までに30ヶ所に協議会をつくりました。まだ2ヶ所協議会が成り立っていないと聞いていますが、様々に事情の違う町会が、避難所運営というむずかしい問題に足並みをそろえるのは大変だと思えます。

区役所はこれをうけ、5月21日に避難所運営協議会役員全体会を行い、今後の基本方針を説明しました。一方、都は毎年都内一地域を決め、今年8月29日(日)に東京都・文京区合同総合訓練を実施することが決まりました。

文京区は避難所運営協議会を、各地域センターを中心に9つの避難所地域連絡会をつくり、これを4つのブロックに別け、今後毎年各ブロック毎に文京区総合防災訓練をやる計画です。今年も東京都との合同訓練で、区は湯島・向丘地区内の7避難所を選び、駒本小学校をメイン会場とすることになりました。

私共駒本小学校避難所運営協議会は、今区役所側と具体的な手筈をつめていくところです。

区は今までの「見せる防災訓練」から「区民参加形訓練」を目指しています。区役所も私も初めてのことなので戸惑いも多いでしょうが、当日は町会員の方々に避難者役もお頼みするので、暑い中ですが何分ご協力の程お願ひ申し上げます。



# 町会活動の概要

平成21年12月から  
平成22年5月まで

平成21年

12月4日 「防犯部」 駒込防犯協会全体会議

駒込警察署

8日 駒本小学校避難所運営協議会

10日 区報配布

12日 定例役員会・ご苦労会

常瑞寺会館

15日 「婦人部」 歳末助け合い募金

二百四十四件 金十八万二千四百円

17日 「婦人部」 資源回収

23日 歳末夜警

二十三日より二十九日まで 午後十時より

25日 区報配布

平成22年

1月7日 「防犯部」 駒込警察署武道始式 駒込警察署

8日 「交通部」 駒込交通安全協会新年会

東天紅

10日 区報配布

10日 「防災部」 本郷消防団始式 シビックホール

14日 文町連新年会 区民センター

20日 「防災部」 本郷防火防災協会理事会・年賀会

東天紅

21日 「婦人部」 資源回収

22日 「防犯部」 駒込防犯協会新年会

東京ガーデンパレス

25日 区報配布

27日 文京つつじ祭常任委員会

2月1日 向丘地区対委員会新年会 向丘地域センター

4日 「婦人部」 日赤宿泊研修会

10日 区報配布

12日 定例役員会 常瑞寺会館

13日 避難所運営協議会 駒本小学校 午前9時より

18日 「婦人部」 資源回収

19日 「防犯部」 駒込防犯協会全体会議 駒込警察署

25日 区報配布

3月2日 「婦人部」 つつじ祭婦人部会

4日 「婦人部」 日赤役員会

10日 区報配布

12日 定例役員会

14日 「文化部」 「婦人部」 餅つき大会 真浄寺前道路

18日 「婦人部」 資源回収

20日 「防犯部」 春の地域安全運動

防犯講話・街頭キャンペーン等

23日 「交通部」 駒込交通安全協会理事会

23日 「防災部」 消火器の納品・回収 駒込警察署

25日 区報配布

4月2日 つつじ祭常任委員会 根津神社

6日 「交通部」 春の交通安全運動・街頭活動

15日まで

10日 区報配布

12日 定例役員会

13日 「婦人部」 春の交通安全運動・街頭活動

15日 「婦人部」 資源回収

25日 区報配布

29日 つつじ祭・警備

5月10日 区報配布

10日 「交通部」 駒込交通安全協会総会

東京ガーデンパレス

10日 青少年対策向丘地区委員会定期総会

16日 「婦人部」 日赤募金キャンペーン 東京ドーム

18日 向丘地区町会連合会総会 向丘地域センター

19日 本郷防火防災協会総会 東天紅

20日 「婦人部」 資源回収

20日 文京区町会連合会定期総会 区民センター

21日 「婦人部」 日赤募金

二百三十六件 金十七万八千六百五十円

21日 避難所運営協議会役員全体会議

22日 「婦人部」 日赤活動・くすのきの郷 区民センター

25日 区報配布

25日 定例役員会・定期総会 常瑞寺会館

26日 「防犯部」 駒込防犯協会定期総会 駒込警察署

28日 第一回スクールガード情報交換会 駒本小学校

30日 地区対行車

自転車交通安全講習会と餅つき会 誠之小学校

## 訃報

岸田てる子様 83歳 向丘2-14-9

鈴木哲夫様 86歳 向丘2-29-9

小泉マサ様 77歳 向丘2-23-18

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成21年度収支決算報告

(自平成21年4月1日～至平成22年3月31日) 蓬萊町会

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金		各種支出	
現金	50,000	総務部費	730,042
普通預金	2,428,247	婦人部費	361,919
町会費	1,276,100	文化部費	232,766
受取利息	10,708	防災部費	161,526
区助成金等		防犯部費	65,690
		交通部費	54,890
区報配布	169,500	盆踊り補助	300,000
蓬萊町だより他	33,905	次期繰越金	
活動助成金	156,227	現金	50,000
リサイクル	161,340	普通預金	2,329,194
合計	4,286,027	合計	4,286,027

平成22年度収支予算

(自平成22年4月1日～至平成23年3月31日) 蓬萊町会

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	2,379,194	総務部費	800,000
町会費	1,400,000	文化部費	600,000
区助成金等	500,000	婦人部費	400,000
		防災部費	160,000
		防犯部費	120,000
		交通部費	120,000
		蓬萊友の会	50,000
		予備費	2,029,194
合計	4,279,194	合計	4,279,194

三井住友銀行定期預金 (No.703987) 3,629,000 円

上記の通り、平成21年度決算報告を致します。

平成22年5月25日 町会長 本城 康至 ㊟  
 会計 池田 秀男 ㊟  
 藍原紀久子 ㊟

監査の結果、上記決算書は正確に処理されていることを認めます。

平成22年5月25日 会計監査 関根 昌一 ㊟

平成22年度予算を上記の通りと致します。

平成22年5月25日 町会長 本城 康至 ㊟  
 会計 池田 秀男 ㊟  
 藍原紀久子 ㊟

蓬萊句壇

鮑屑ちじれ丸まり春寒し 青木 沛寿  
 睦み月知恵の輪を解く老夫婦 福山 七重  
 福引や籤運強き子に引かす 小野 向雪  
 骨休み吾が身に許し寝正月 彦坂つぐを  
 熟睡の中に初夢置忘れ 岡田 栄子  
 セーターの防虫剤の匂いかな 船橋 小糸  
 さりげなく「その色いいね」寒の紅 平山 雅美  
 黙読の詩集が誘う春の夢 池田 南北

編集後記



暑中お見舞い申し上げます。  
 今年の根津神社の祭礼は本祭り、9月18、19日に蓬萊町の山車とお神輿が町内を巡幸します。皆様のご参加をお待ちしております。  
 町内探訪(4)は、日本舞踊のお師匠さんである酒井昭子様にお筆をお願いいたしました。古き良き時代のご婦人を代表する一人である酒井様には、今後ますますお元気に活躍頂きたいと存じます。

編集委員 本城 康至 坂本 禎一  
 原 通夫 和田わか  
 猪熊 良一